



報道関係者各位

2020 年 12 月吉日

女性のための働き方改革！「生理快適プロジェクト」運営事務局

ご取材のお願い

2021 年 1 月 22 日（金）19：00～

『女性のための働き方改革！「生理快適プロジェクト」』が

1 月 22 日、働く女性のためのオンライン・「生理トーク」セミナーを開催

～生理の悩みを解決して、仕事も私生活もパワーアップ～

女性の体や生理についての正しい理解の促進並びに社会全体のリテラシーの向上を通じて、女性が働きやすい社会の実現を応援したいという考えのもと、複数企業のコンソーシアムにより、女性のための働き方改革！「生理快適プロジェクト」が発足しました。本プロジェクトには、あすか製薬株式会社／バイエル薬品株式会社／富士製薬工業株式会社(50 音順)が協賛企業として参画しています。

女性の社会進出が日本よりも進んでいる諸外国では、生理に対する社会的な理解が浸透しており、婦人科のかかりつけ医(Primary Care Doctor)を持つことや生理痛に対して低用量ピル*などを適切に服用することが定着しています。残念ながら日本では、女性特有の体の問題に配慮・対処する意識がまだ低いのが現状ですが、女性のための働き方改革の要望が高まる中、こうした女性特有の問題をオープンに話し合おうという機運が徐々に高まりつつあります。

そこで、今回「生理快適プロジェクト」の一環として、働く女性（男性も参加可能）を対象に、生理との付き合い方について、オンライン・トークセミナーを開催することとなりました。講師として、産婦人科医の甲賀かをりさんが女性の体、生理や生理痛について丁寧に解説します。また、2 児の母として輝いて仕事をしているタレントの SHELLY さんが、ご自身の生理痛の悩みをどう解決したのか、仕事と体のケアのバランスをどのようにとっているのか、本音トークを繰り広げます。

*低用量ピルには、避妊目的で使用される経口避妊薬（OC）と治療目的で使用される保険適用のある低用量エストロゲン・プロゲステン製剤（LEP 剤）があります。



<セミナー概要>

SHELLY さんと産婦人科医・甲賀かをりさんが語る 快適生理マネジメント術
「生理の悩みを解決して、仕事も私生活もパワーアップ！」

日時：2021 年 1 月 22 日（金）19:00～20:15(開場時間：18:45～)

主催：日経 BP 総合研究所（生理快適プロジェクトコンソーシアム・事務局）

協賛：あすか製薬株式会社／バイエル薬品株式会社／富士製薬工業株式会社(50 音順)

参加方法：以下の URL にアクセスいただき、事前登録をお願い申し上げます。

ご登録いただくと Zoom ミーティングの招待 URL が発行されます。

★参加登録はこちらにアクセスください（当日は 18:45 より、Zoom ウィビナーに接続可能となります）

<https://project.nikkeibp.co.jp/event/sei201122/>

<プログラム>

第 1 部：19:00～19:25

「働く女性が生理痛を放置してはいけないワケ」（仮）

講師：東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 准教授 甲賀かをりさん

<講師プロフィール>

東京大学 大学院医学系研究科 産婦人科学講座 准教授。千葉大学医学部卒、東京大学大学院修了。2014 年より現職。日本生殖医学会生殖医療専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内分泌学会専門医・指導医など。



第 2 部：19:30～20:10

「シェリー流、生理と婦人科との付き合い方」（トークディスカッション）

講師：SHELLY（シェリー）さん×甲賀かをりさん

<講師プロフィール>

SHELLY（シェリー）さん 1984 年生まれ。14 歳でモデルデビュー。ラジオの DJ、バラエティー番組への出演のほか、情報番組のキャスターや司会としても活躍。2014 年に結婚し、2016 年、第 1 子の女の子、2018 年、第 2 子の女の子を出産。出産後も子育てと仕事を両立しつつ、テレビ、ラジオで活躍中。



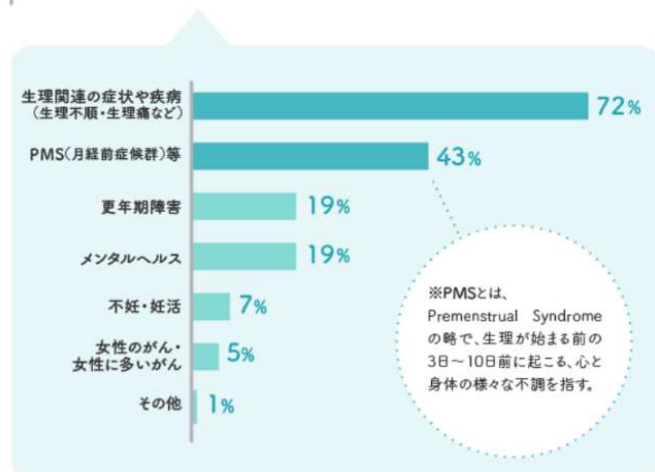
女性のための働き方改革！

生理快適プロジェクト



■参考データ

半数が生理のために仕事で困った経験を持つ



（データ：厚生労働省『働く女性の健康推進に関する実態調査 2018』）

生理トラブルの放置は
年間、約5000億円の労働損失

月経随伴症状による1年間の社会経済的負担



（データ：J Med Econ. 2013 ;16(11) :1255-1266）

●本件に関するお問合せ

〒105-8308 東京都港区虎ノ門 4-3-12

日経 BP 総研 女性のための働き方改革！「生理快適プロジェクト」運営事務局

菟原まで k-uhara@nikkeibp.co.jp